



CHALLENGER

[挑戦者たち] 12



cherry tree of Tarumi

樽見の大ザクラ

樹齢千年以上を誇る巨木「樽見の大ザクラ」
まるで白雪に覆われたような美しい姿は、
全盛期の三分の一までに枯れ細っていた。
かつての姿を取り戻すべく男たちが立ち上がった。

プロローグ

「今年はどうけ雪が降るなあ。11年前のあの日を思い出すわ」。

しんしんと積もる雪を眺めながら、村の老人がそつとつぶやく。老人がいうあの日とは、樹齢千年以上といわれる大木が悲鳴をあげた日。旧大屋町樽見地区（現養父市）の「樽見の大ザクラ」の枝が折れた日だった。11年前の冬も強い寒波が襲来し、旧大屋町も、近年稀にみる大雪に見舞われていた。そして、老木である大ザクラの太い枝は、雪の重みに耐え切れず折れてしまったのだった。

守り続けた村の宝

「今までの努力が無駄になるのか」。

それはまさに断末魔の叫び声…。

無惨に折れた太い枝を前にして、樽見の人々は呆然と立ち尽くしていた。今にも折れそうな枝や幹を一丸となつて保護してきた歴史。目の前には、その過去を泡に帰すような光景が広がっていた。

大ザクラの保存活動の歴史は、約40年前。昭和42年に枝の枯れ始めが目立ち出し、昭和44年、有志によつて「大桜を守る会」が結成されたとに始まる。

その当時、大ザクラが咲く山腹周辺は、杉やヒノキといった人工林で埋め尽くされていた。これは、高度経済成長期に若者が都会へ出て人手不足になり養蚕が衰退、桑畑だった山腹へ植林したことに起因する。

杉やヒノキはあつという間に、大ザクラの頭上を覆い尽くす。日照不足に陥った大ザクラはその樹勢を一気

Sweet Wedding Plan

選びたい二人の幸せのかたち

挙式スタイル、料理、衣裳などの内容を予算に応じて、自由に組み合わせられるプランです。

挙式 + 衣裳/写真 + 披露宴(30名)

人前… ¥21,000～ 衣裳/写真… ¥245,000～ 披露宴… ¥614,000～



「成人式振袖予約会」

振袖シーンはいつでも満足できる装いで臨みたいもの

3/31(金)・4/1(土)・2(日)

時間：10:00～18:00

ご成約特典あり



南欧風チャペル「ビッグベン」

ザ・ランチバイキング

医食同源メニューが人気!

お一人様 ¥1,000 (税込)

時間: 11:30～14:00

※開催日は直接お問い合わせ下さい。

幸徳殿 KOHTOKUDEN

兵庫県朝来市和田山町土田599-3

フリーダイヤル 0120-17-3135

http://www.kohtokuden.com
e-mail: info@kohtokuden.com



熱心な保護活動により、かなり樹勢が回復した「樽見の大桜」(昨年撮影)



11年前までは枝はつかえ棒で支えていた

に失っていった。

「昔はこの樽見の集落からも、美しい大ザクラがはつきりと見えたんですよ。しかし、植林によって、その姿は全く見えなくなりました」。区長の藤本弥一は当時を振り返る。

杉やヒノキに圧迫され、枝幅36メートルあったというかつての雄大な姿は、見る見る内にやせ細っていった。

「このままでは朽ち果ててしまう」。危機感を抱いた住民は、町と連携して、大ザクラ周辺の土地を買い取り、杉やヒノキを伐採。また、毎年、主枝と若枝に支柱を設置して、枝が折れるのを防いだ。

まだ大ザクラまでの山道が整備されていなかった時代。道なき道を、重いハシゴと支柱をかついで登っていた。村の多くを占める高齢者にとつては、体に堪える作業だった。

「また今年も優雅に咲く姿を見た」。まさにその一心で、樽見の人々はきつい斜面に歩を進めた。

しかし、平成7年冬。これまで支柱によってなんとか支えていた太い枝は、真つ二つに折れた。それはあまりにも一瞬の出来事だった。

「もう花見ができなくなるな」。あきらめの声があがる。大ザクラの折れた枝に、うらめしく雪が降り積もった。

あきらめない男

「子どもの頃からずっと共にあった村の宝を無くすわけにはいかない」。まだあきらめていない男がいた。当時、区長をしていた尾崎弘明だった。

「ときの出石藩主・小出備前守も遊覧した」。これは『校補但馬考』に記述された「樽見の大ザクラ」についての一節である。大ザクラは古くから人々に知られ、親しまれてきた村の自慢だった。

兵庫県下最大の古桜。但馬には国の天然記念物に指定された桜が4本あるが、中でも、この大ザクラは最も古い昭和26年に指定されている。

山腹にあるこの巨木を、村の人々は決して切らずに守り神として大切にしてきたという。昔から地元では、「仙桜せんざくら」と呼んだ。樽見に暮らす人にとつて、この大ザクラは自分たちの生活の一部であった。

「必ず樹勢を取り戻してみせる」。理科の教師として勤め上げ、定年後も自然保護団体に所属し、但馬各地の山々を駆け回ったという経験が彼の背中を押した。

なりふり構わず、ありとあらゆる仲間をつてを頼る毎日。そうして行き当たったのが、「兵庫県樹木医会」だった。早速、専門家による診断が

いい人といい酒をむすぶ案内役

酒一路 酒楽

新規開店の方、応援します！

感謝

を伝えたいあなたへ...

他店では手に入らない

極上

の清酒・焼酎が120アイテム

道の駅「但馬楽座」前

大型バス駐車可

冷えたビール
ジュースあります！

* 定・低温品質管理 * 個性のある地酒・地焼酎

〒667-0131 兵庫県養父市上野1060 TEL・FAX 079-664-2345 <http://www3.ocn.ne.jp/~syuraku/>

CHALLENGER 12

[挑戦者たち]

樽見の大ザクラ



樹体を支えるジャングルジムは治療するための定場にもなり、当時画期的な方法として注目された

行われる。

「このまま放っておくとあと何年ももたない。一刻も早い治療が必要だ」。出された診断結果は予期したとおりのものだった。

「ちょうどこの時期、木のお医者さんの制度が確立され始めた頃でした。とてもタイミングがよかった。もしあの時、樹木医会にたどり着いていなかったら、大ザクラも過去の遺産になっていたと思いますよ」。尾崎はそのように振り返る。

この診断結果を基に、町は保護に向けて計画書を作成。熱心な働きかけが功を奏し、国や県からの補助を受けることになり、ここに大規模な再生保護の事業が実施される。

その間も刻一刻と朽ち果てていく大ザクラ。時間との戦いが始まった。

老桜に挑む

元禄の頃には東西南北ともに約20間(約36メートル)に渡ったという枝振りは、約3分の1ほどの大きさになっていた。

「本当に以前のような勢いを取り戻すのか」。住民も半信半疑だった。

まずは枝折れを防ぐための対策が講じられた。今までも枝を支えるために住民が支柱を立てていたが、突っかえ棒程度の補強。毎年、雪の重

みで支点がずれてしまい、その都度総出で直しに山を登っていた。

「なにかいい方法はないか」。診断にあたる樹木医たちも、これほどの巨木、老桜を治療した経験はない。みんな頭を抱えた。

「幹周りにジャングルジムのような足場を組んだらどうか」。ある男が声をあげた。尾崎だった。これなら樹体にかかる負荷を軽減し、大ザクラを傷めることもない。これまで様々な自然保護の現場を渡り歩いてきた経験から、ずっとあたたため続けてきた案だった。

このアイデアは、全国からも視察に訪れるほど画期的なものとなる。

さらに、治療は進む。樹幹にはこれ以上腐敗が進まないように木工ボードを塗布。幹からは不定根(根っこ以外から生える根)と呼ばれる根を探し出し、そこからも大ザクラに栄養が回るよう、腐葉土を巻いて大切に保護した。

「千年も生き続けた立派な古木を枯れさせるわけにはいかない」。

樹木医たちは身震いするほどの雄大な姿を目の当たりにして、必死の治療を施した。

また、住民たちも桜の周りに茂ったカヤを刈り取るなどして管理に努めた。大ザクラを愛する者たちが一

まごころ1番店を目指す!!

地域とともに歩む。不動産のライフフィット!

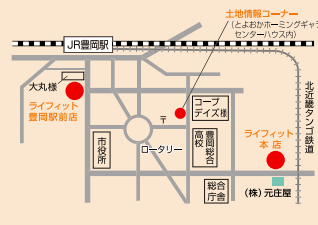
土・日曜も営業しています!
お気軽にお立ち寄り下さい!

和田山店

朝来市和田山町玉置1107-4
サンライズ和田山102号
TEL.079-672-6565
FAX.079-672-6566
E-mail:wadayama@lifit.jp



アパート・マンション・貸家・土地・中古住宅・店舗の売買など、なんでもライフフィットへお気軽にご相談ください。
●ご希望の物件情報を検索できます。●大好評!情報誌「ライフフィットタイムズ」無料進呈中!!



本店
豊岡市幸町4番4号
TEL.0796-24-2011
FAX.0796-24-2077
E-mail:nfb@lifit.jp
豊岡駅前店
豊岡市大手町1番27号
TEL.0796-26-6565
FAX.0796-26-6566
E-mail:tekimae@lifit.jp



株式会社 ライフィット

(社)兵庫県宅地建物取引業協会 宅地建物取引業者免許
兵庫県知事(3)第650061号

ホームページ <http://www.lifit.jp/>



腐葉土で保護された不定根



大桜の治療にあたる宮田樹木医



地元の小学生がまいた大桜の種は確実に育っている

丸となって作業にあたった。

こうして5年に及ぶ保護事業が行われた結果、樹勢はかなり回復。開花状況も治療前とは比べものにならないほどの美しい花を付けた。

「これも樽見に暮らす人、治療にあたる人、そして、それを支える人たちが、気持ちをひとつにしたから成功したんだと思います。みんなが意見を出し合ったからこそこの成果です」。尾崎は力強く語った。

「樽見の大ザクラ」は標高340メートルの山腹に位置するため、平地部より2、3日遅れての開花になるという。毎年、4月10日前後に見頃を迎えるこの古桜を一目見ようと、およそ1万人の観光客が訪れる。

支柱のなご口を奪見ん

平成18年、春。今年も大ザクラはその命を切らすことなく、開花の時

期を迎えようとしている。

この季節になると、樽見地区はもっぱら大ザクラの話題ばかりになると、現区長の藤本は教えてくれた。樽見の人々の大ザクラに対する気持ちが伝わってくる。

しかし、課題も多いという。集落は高齢化や過疎化が進み、大ザクラを管理していく後継者がいないのだ。そんな問題を少しでも解決するべく、子どもの頃から大ザクラに慣れ親しんでもらおうと新たな取り組みがなされている。

地元の小学生に、治療を担当する樹木医が集めた大ザクラの種を、学校の農園に蒔いてもらったのだ。これはずっと大ザクラの治療にあたってきた樹木医、宮田和男の呼びかけだった。

「汗をかいた体験は絶対に忘れません。子どもたちも自分たちで種を

まくという体験をすれば、いつかこの大ザクラのことを思い出し出してくれるはず。大人になっても、大ザクラを大切にしようという心が育っていくと、思うんです」。


宮田は自らも汗をかく樹木医として各地の小学校を飛び回り、緑の大切さを伝えている。

「近い将来、あの支柱をすべて取り外したい。子どもの頃、目にしてきた勇壮な大ザクラの姿を蘇らせることが夢ですね」。藤本と尾崎は最後にそう語った。

千年以上もその可憐な花を咲かせ続けてきた「樽見の大ザクラ」。私たちは、この巨木が目には見えない多くの人々に支えられていることを忘れてはならない。

協力：藤本弥一さん、尾崎弘明さん、
宮田和男さん
資料提供：養父市教育委員会

あなたの 毎日の暮らしを応援します

 但馬信用金庫

本店／豊岡市中央町17-8 TEL0796(23)1200 <http://www.tanshin.co.jp/>